

## 海洋地球研究船「みらい」の減揺装置ケーブルベア破損の復旧について

海洋科学技術センター（理事長 平野 拓也）の海洋地球研究船「みらい」は1月30日および1月31日に、マジエロ（マーシャル諸島）（[図-1](#)）において、故障していた減揺装置のケーブルベアの復旧作業を実施した。なお、「みらい」は予定どおり慣熟訓練航海を行っている。

### 1. 実施内容

- （1）破損したケーブルベアリンクを含む合計20個を新品と交換した。（[図-2](#)）
- （2）交換後、電源を投入し、電動機により減揺体を左右1m程移動させ、ケーブルおよび制御装置の作動を確認した。（[図-3](#)）

### 2. 今後の対応

交換したケーブルベアリンク20個を持ち帰り、破損状況を調査するとともに、再現試験等を含めた原因究明を行う。

問い合わせ先：海洋科学技術センター

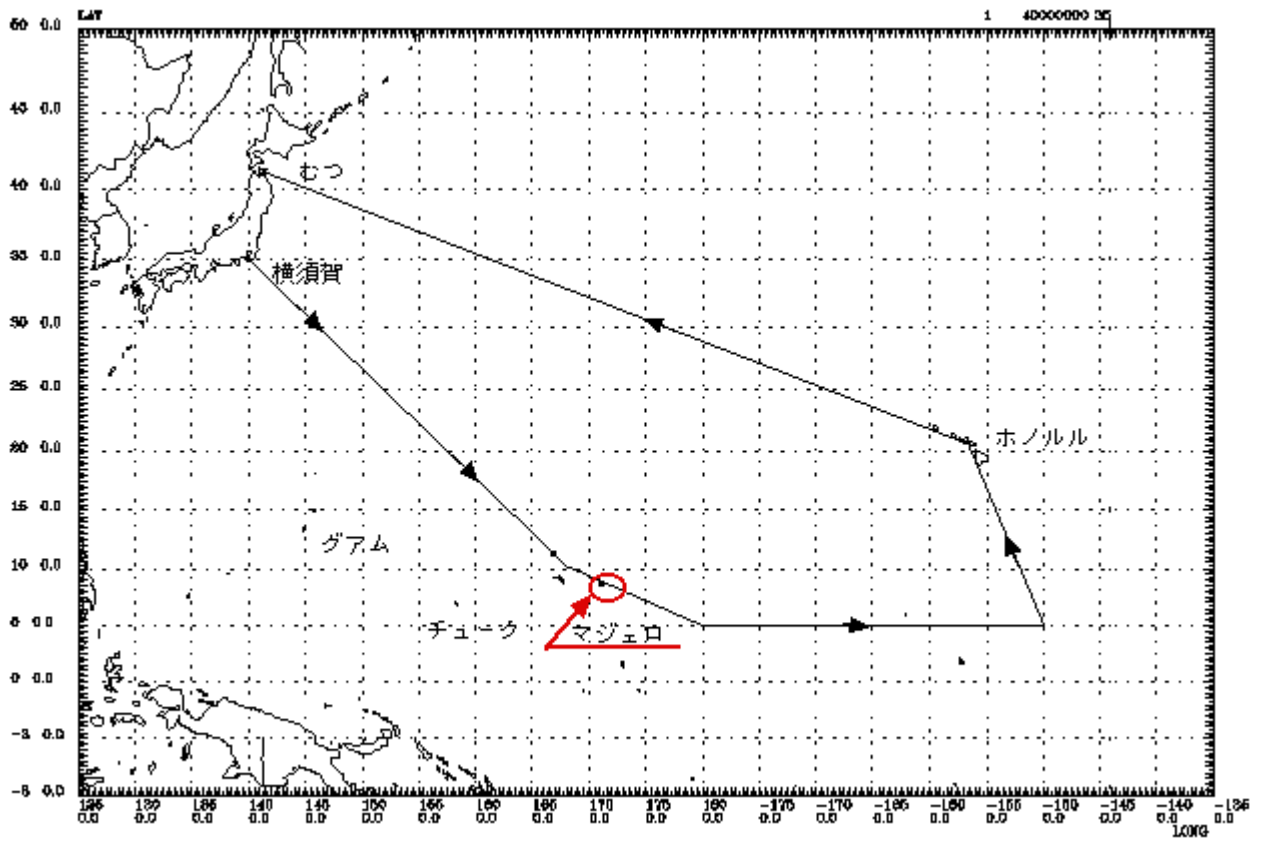
深海開発技術部 主幹 青木 太郎

電話：0468-67-5568

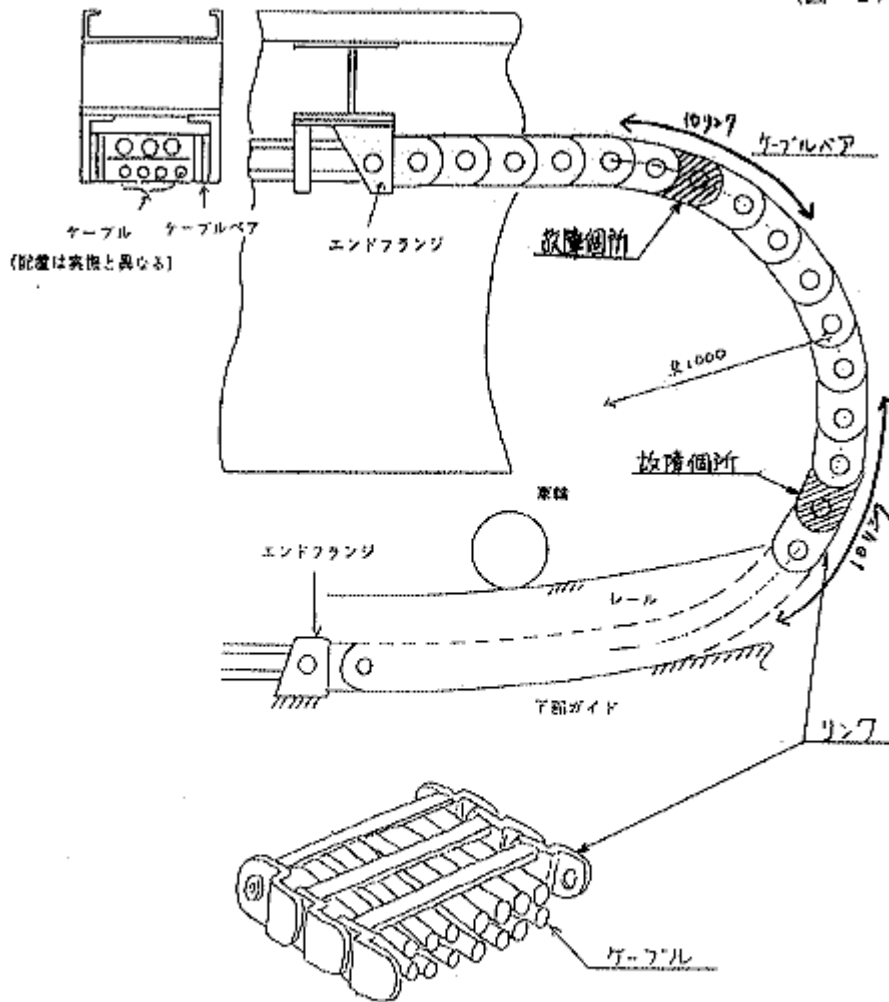
総務部普及・広報室 喜多河 康二

電話：0468-67-3806

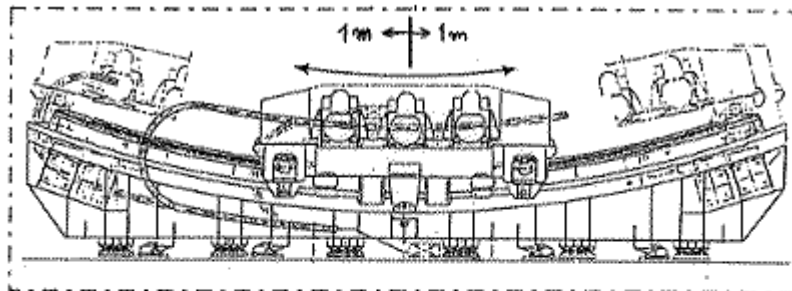
---



(図-2)



ケーブルベアの配置(上図)と構造(下図)



#### ハイブリッド式減揺装置要目

搭載船： 海洋地球研究船「みらい」

装置寸法：  $L \times B \times H = 14.5\text{m} \times 4.6\text{m} \times 4.3\text{m}$

固体質量： 100ton

固体質量変位：  $\pm 4.0\text{m}$

固有周期： 1.3秒

電動機： AC110kW  $\times$  1800rpm  $\times$  3台